

第六次総合計画 施策評価シート（令和3年度）

1-⑩

施策

一人一人が生涯を通して行う学習を支援するとともに、生涯学習による地域の活性化を推進する

担当部局

教育委員会，企画財政局，保健福祉局

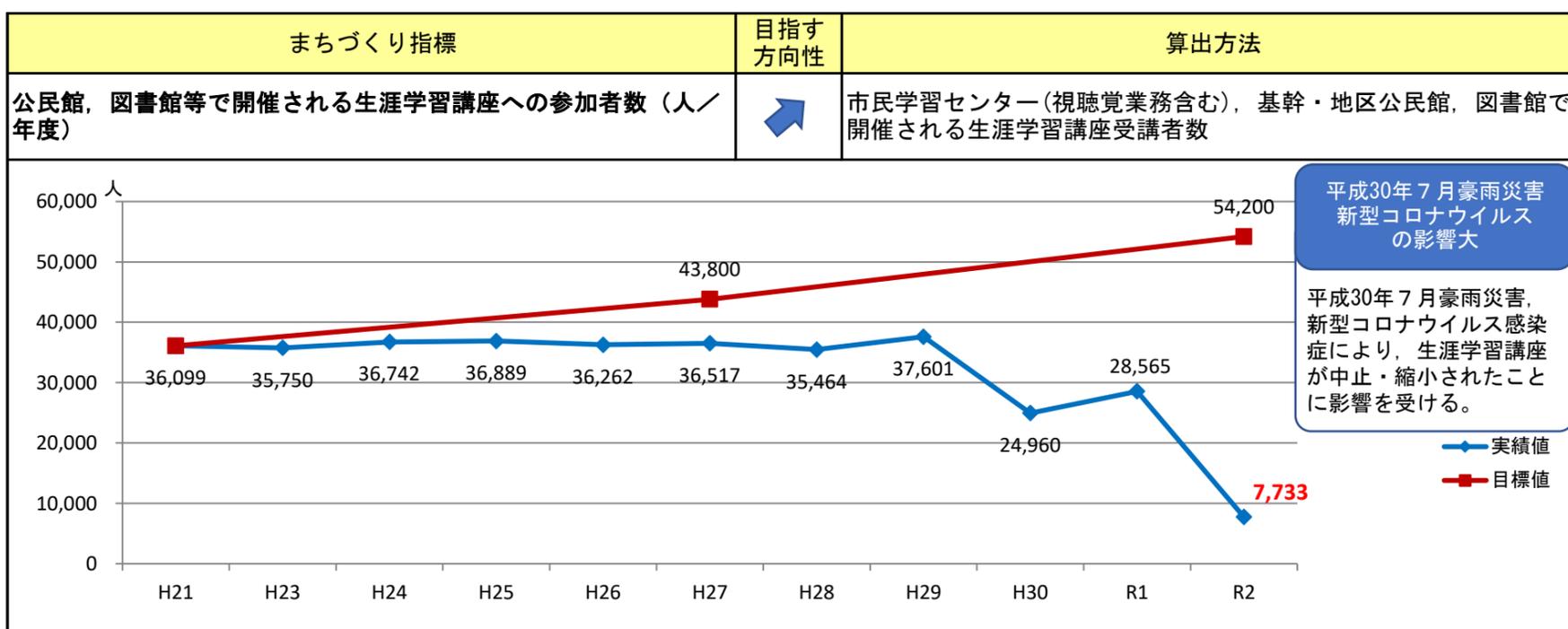
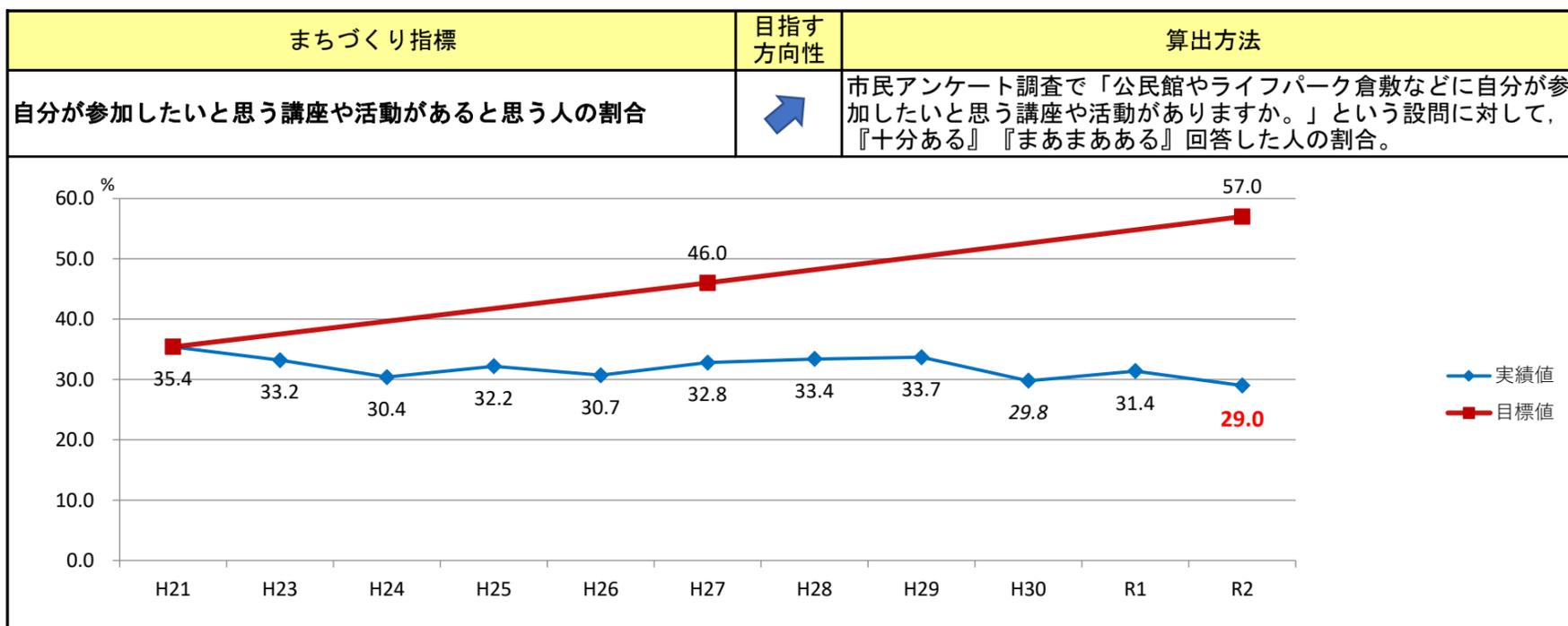


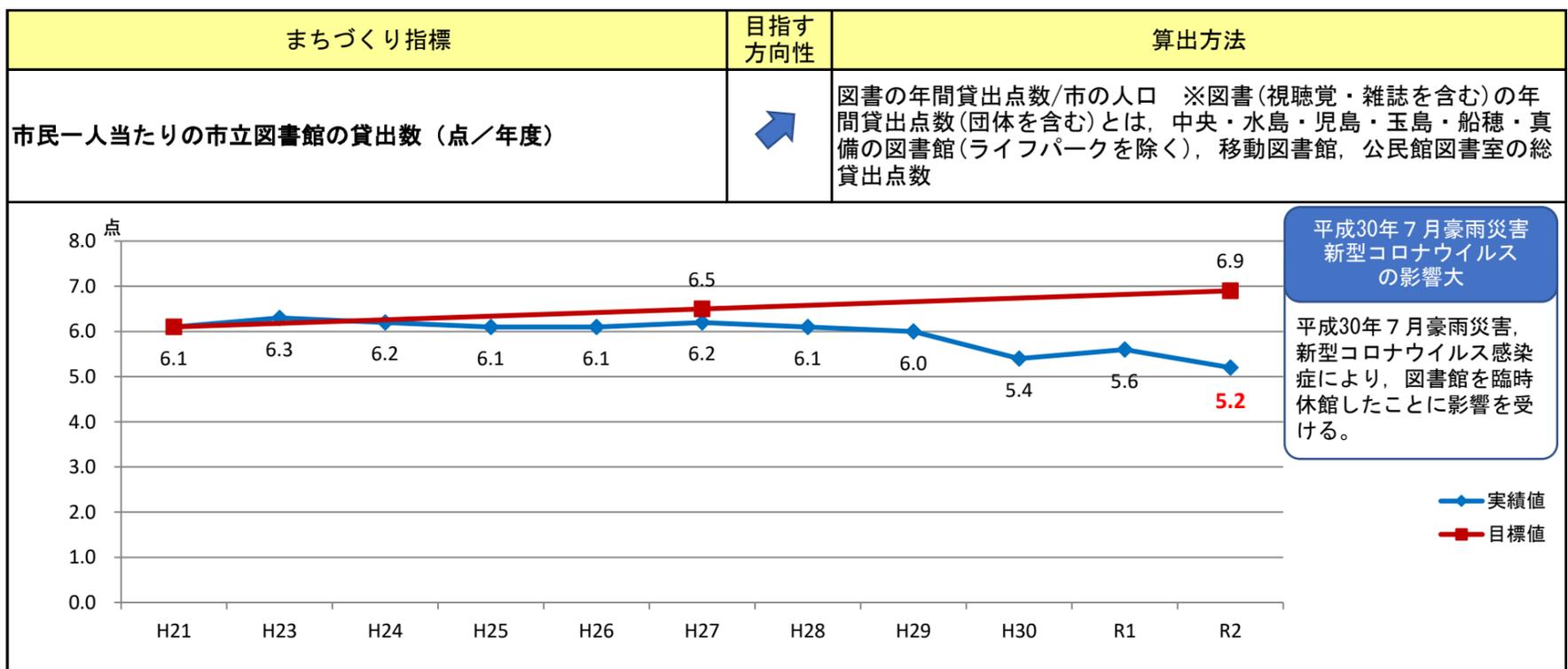
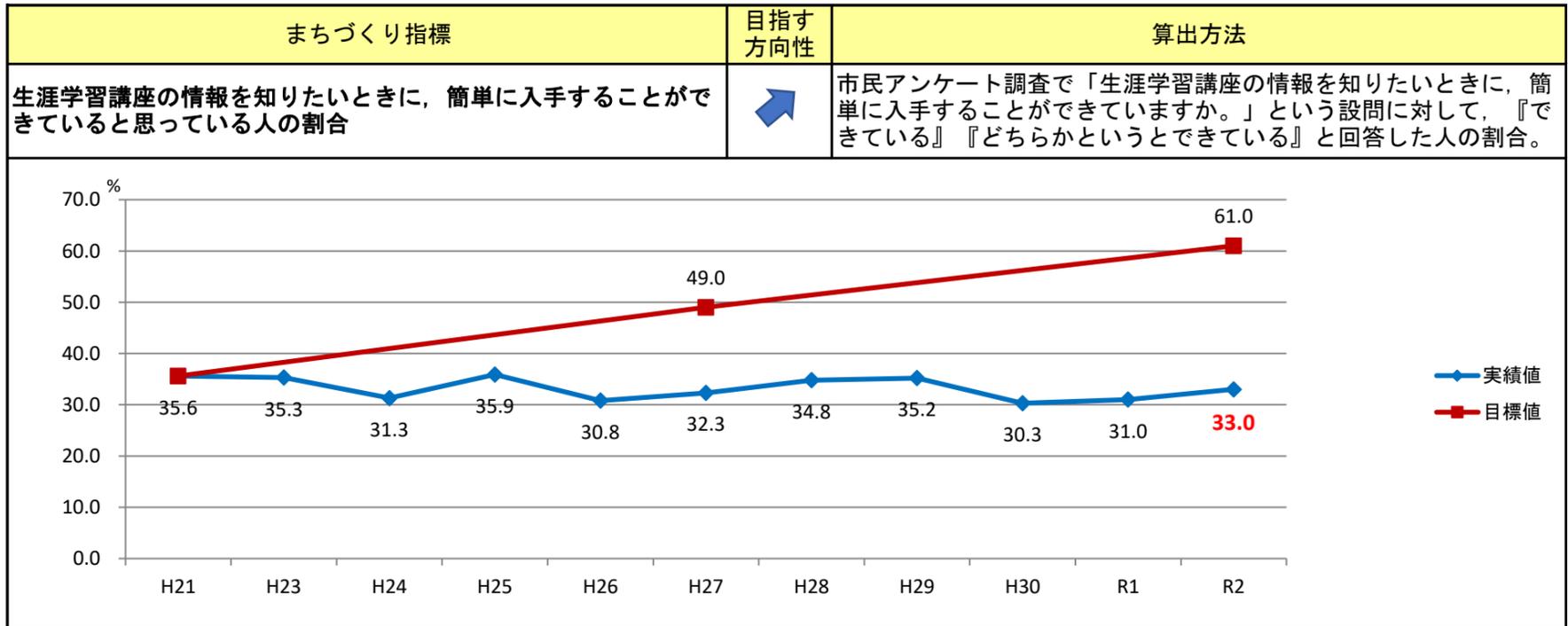
【豊か】 めざまちの姿 だれもが興味があることを，気軽に学べている

市の基本方針

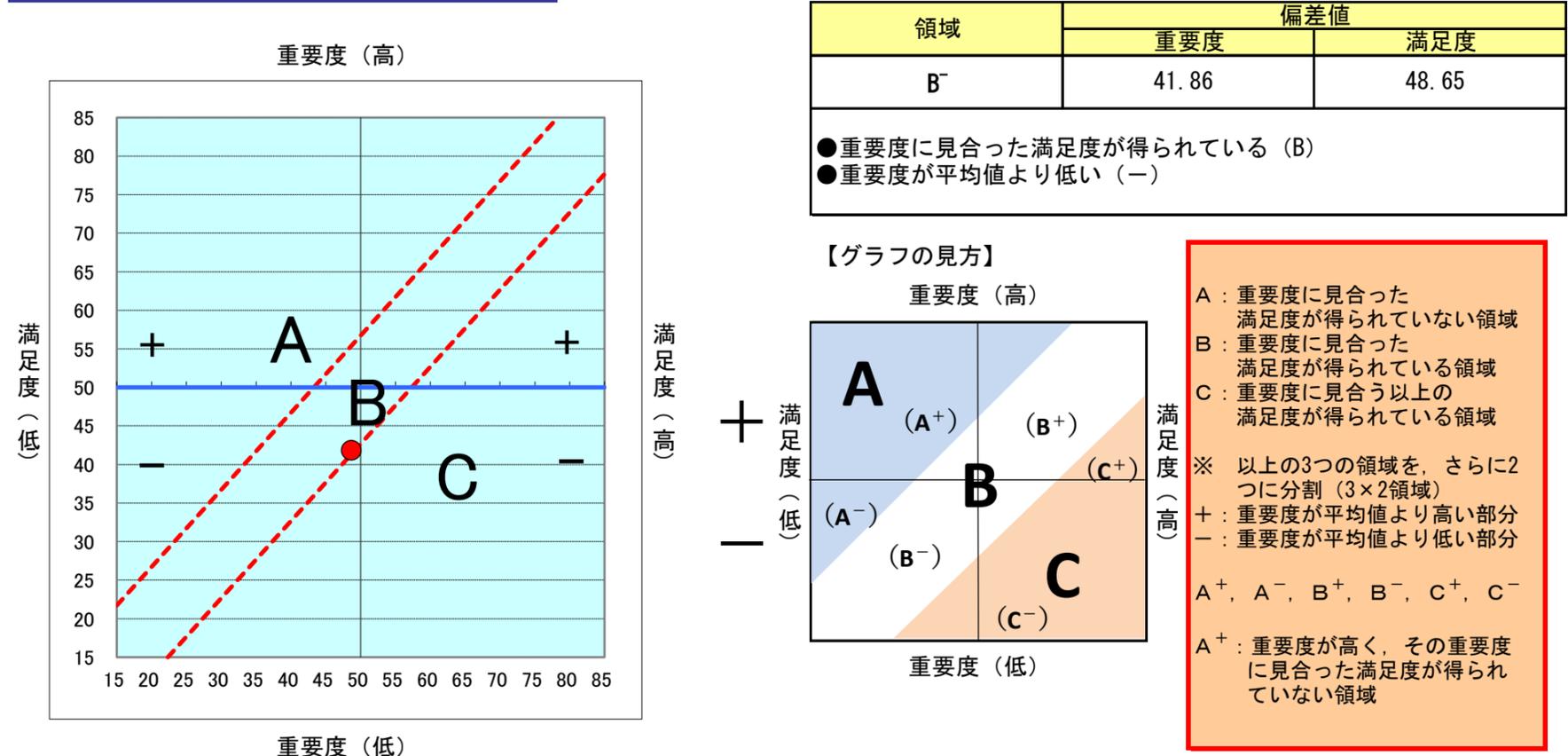
- あらゆる世代のニーズに対応した学習機会を提供するとともに，情報提供の充実に努めます。
- 学習や地域づくりの拠点となるよう，また，多くの市民が利用しやすいように施設機能の充実に図ります。
- 多様化する市民ニーズの把握に努め，求められる知識や技能を習得する講座を企画するとともに，学習した成果を地域で生かせるような仕組みづくりを進めます。
- 大学などの高等教育機関や企業，民間団体など，多様な主体と連携した生涯学習を推進します。

数値目標





市民の重要度・満足度 (R3.5アンケート調査結果)



施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和2年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R2年度 決算額 (千円)
	生涯学習推進事業	(Ⅰ) 市民の学習活動に対する支援と市政に関する理解を図ることを目的とする。 (Ⅱ) 市の行政活動を分かりやすく伝えるため、市職員が地域に出向く出前講座を実施した。延べ192講座を開講し、6,399人が参加した。 (Ⅲ) 講座の新規・見直しを検討しながら、継続して実施する。	639
	子どもセンター事業(再掲)	(Ⅰ) 情報誌の発行や子育て支援情報の発信により、家庭教育を支援する。 (Ⅱ) 情報誌「パワフルキッズ」を年4回発行し、各種イベント情報等を周知したほか、親子で楽しめるイベントを年3回開催し、合計262人が参加した。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3回イベント中止) (Ⅲ) 親子の体験活動の場の提供に努め、継続して実施する。	2,830
	子育て広場開設事業(再掲)	(Ⅰ) 子育ての不安や悩みを解消し、楽しく子育てできることを目的に、就園前の乳幼児とその保護者を対象とした「子育て広場」を開設した。 (Ⅱ) 幼稚園等10カ所で開催。191回実施し、延べ3,561人の親子が参加した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	2,982
	図書館図書購入事業	(Ⅰ) 市民の学習支援や読書活動のため、組織的に資料を収集する。 (Ⅱ) 収集基本方針に基づき、図書館全体で一般書83,010冊、児童書32,014冊を購入した。また、子育て支援、農業・ビジネス支援のほか闘病記コーナーや高齢者のための資料の充実に努めた。 (Ⅲ) 令和3年度はSDGs等、時代情勢や市民ニーズに合った図書を購入する。	84,046
	生涯学習活動推進事業	(Ⅰ) ニーズに対応した講座実施や、地域・社会が抱える課題解決のきっかけとなるような学習機会の提供を目的として実施した。 (Ⅱ) 市民学習センター及び公民館では、講座を120講座実施し、受講者数は1,706人であった。市民学習センターでは、くらしき市民講座の充実を図り、公民館では地域の課題解決につながるような内容の講座に重点をおいて実施している。 (Ⅲ) 地域課題の解決に繋がる講座の充実を図りながら、学んだ知識を地域へ還元できる仕組みづくりを考え、継続して実施する。	305,479
	宇宙劇場運営事業	(Ⅰ) 青少年の科学に対する夢や憧れを育み、科学知識の普及・啓発を図るため実施する。 (Ⅱ) プラネタリウムの一般投映及び学習投映(主に学校団体向け)の上演並びに全天周映画の上映を行い、25,920人が観覧した。 (Ⅲ) 時流の科学や天文の話題をうまくとらえた番組作りを行い、継続して実施する。	38,958
公創	天文王国おかやま事業	(Ⅰ) 高梁川流域を中心とした県内の天文関連施設の利用促進を図るため実施する。 (Ⅱ) 天文関連施設6施設のうち2施設以上を巡る「星めぐりスタンプラリー(令和2年10月31日～令和3年2月28日)」に191件の応募があった。 (Ⅲ) 「天文王国おかやま」のキャッチフレーズとともに、岡山県の星空の魅力を県内外に広くPRしながら継続して実施する。	200
	生涯学習環境整備事業	(Ⅰ) 市民の生涯学習実践ニーズに応えるため、必要な施設・設備の整備を行う。 (Ⅱ) 玉島北公民館ほか空調機修繕及び福田南公民館ほか屋外照明設備修繕等を行った。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公民館のトイレ人感センサー化修繕等を行った。 (Ⅲ) 今後も引き続き、市民にとってより利便性の高い施設になるよう、施設・設備の整備・改修を継続して実施する。	26,916
	ネットワーク・システム整備事業	(Ⅰ) 運用する各システムとネットワークの安定稼働を目的とする。 (Ⅱ) 校務用サーバ、Webサーバ、ファイアウォール等教育委員会拠点サーバの機器更新を実施した。 (Ⅲ) ネットワークセンターとして、各システムを始め、基幹サーバやネットワーク機器の安定した運用ができるように継続して実施する。	152,245
	高梁川流域大学連携推進事業	(Ⅰ) 市内の11の大学等と連携した生涯学習の推進を目的とする (Ⅱ) 23講座を開催し、延べ399人の参加があった。また、COC事業の継承事業として学生主導型の講座を実施した。 (Ⅲ) 各大学の特色と専門性を生かし、高梁川流域連携中枢都市圏事業の一つとして実施する。	3,145
	いきいきパスポート事業	(Ⅰ) 市内在住の小中学生へ、子どもの体験活動の場と機会を提供する。 (Ⅱ) いきいきパスポートを提示することで、市内社会教育施設27か所で、土・日・祝日及び振替休日の入館料が免除になるようにした。また、スタンプラリーを実施し、利用拡大を図った。倉敷市在住の小中学生5,064人が利用した。 (Ⅲ) 市内在住の小中学生へ、子どもの体験活動の場と機会を提供するため、継続して実施する。	475
創	高梁川流域パスポート事業	(Ⅰ) 高梁川流域圏内の小学生へ、市町を越えた体験・交流の機会を提供する。 (Ⅱ) 流域パスポートを提示することで、高梁川流域圏域の社会教育施設63か所で、土・日・祝日及び振替休日の入館料が免除になるようにした。また、スタンプラリーを実施し、利用拡大を図った。7市3町の小学生1,750人が利用した。 (Ⅲ) 小学生に高梁川流域圏域の魅力を発信し、市町の交流を促進するため、継続して実施する。	837
創	高梁川流域図書館相互利用推進事業	(Ⅰ) 図書館の利便性向上及び圏域の文化発展に資することを目的とする。 (Ⅱ) 令和2年度の本市図書館の利用実績は、本市以外からの利用者延べ1,806人、貸出冊数延べ6,270冊であった。圏域全体では、当該市(町)外からの利用者延べ21,104人、貸出冊数延べ98,889冊となっている。 (Ⅲ) 圏域全体の利用は定着してきており、継続して実施する。	884

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和2年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R2年度 決算額 (千円)
創	高梁川流域学び直し支援事業	(Ⅰ) 高梁川流域圏内の引きこもり状態の若者を対象として、学ぶ場を提供する。 (Ⅱ) ぐらしきシティプラザ西ビル5階に開設した「まなびばippo(いっぽ)」で実施。50人の新規利用登録があった。カウンセリングに延べ116人、学習支援に延べ1,371人、居場所に延べ306人の利用があった。また、夜間学び直し事業では、延べ505人の利用があった。 (Ⅲ) 受託団体と協議しながら、継続して実施していく。	9,130
	自然史博物館調査研究、標本・文献等収集、展示、特別展事業(再掲)	(Ⅰ) 資料収集や調査研究の成果を展示し、市民の教養文化の向上に寄与する。 (Ⅱ) 自然に関する総合調査研究を行い、研究報告第36号を発行した。標本等約7,600点の受入れと文献等2,717点の登録を行った。また、「新着資料展」等の特別陳列や特別展「岡山県のレッドデータ生物2020」を開催した。 (Ⅲ) 様々なニーズへの対応を図りながら、継続して実施する。	4,482
	自然史博物館教育普及、まつり事業(再掲)	(Ⅰ) 学校園や市民への学習支援を行い、次世代における人材育成に貢献する。 (Ⅱ) 自然観察会や各種講座を開催し、参加者数は2,082人であった。また、自然史博物館まつりは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止したが、代替として規模を縮小したワークショップや講座を開催した。 (Ⅲ) 様々なニーズへの対応を図りながら、継続して実施する。	460
創	高梁川流域出前自然史博物館事業(再掲)	(Ⅰ) 高梁川流域住民全体の自然に関する興味・教養を高める。 (Ⅱ) 「高梁川流域自然たんけん」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止とした。「まちかど博物館」は展示ユニットの更新を行い、紹介リーフレットを作成した。新規貸出しは14施設32台あった。 (Ⅲ) 様々なニーズへの対応を図りながら、継続して実施する。	137
	子ども読書活動推進事業	(Ⅰ) 子どもたちが読書に親しむ機会の充実を図るため、人材育成等に努める。 (Ⅱ) おはなし会や語りの会等の行事を13講座開催し、281人が参加した。こども読書通帳は令和2年度約950部配布している。また、読み聞かせボランティア育成のための講座を市内4図書館で5回実施し、延べ21人が参加した。 (Ⅲ) 各課と協力しながら、継続して実施する。	77
創	公民館施設整備事業	(Ⅰ) 老朽化した琴浦公民館の建替えを行う。 (Ⅱ) 令和元年度から設計・施工一括発注方式(デザイン・ビルド方式)により進めてきた建替事業が令和3年2月に完了した。 (Ⅲ) 令和2年度で完了	174,768